

「安心・安全」と共に 「感動」を届けたい

オリエンタルファームの生立ち

私ども、株式会社オリエンタルファームは、青森県八戸市にあり、採卵養鶏業（鶏を飼養し鶏卵を生産販売）を営んでいる会社です。

岩手県内では、鶏肉を生産する「ブロイラー」が盛んですが、採卵養鶏は「レイヤー」と呼ばれております。現在の飼養羽数は約130万羽、1日約93万個の卵を毎日生産し、県内外に出荷しております。

株式会社オリエンタルファームの創業は昭和43年、創業者は、岩手県金ケ崎町出身で、現在、弊社の相談役を務める私の父、高野次郎です。

私が小学生の頃までは、祖父母は金ケ崎におり、当手を思い起こすと、夏休みにはよく岩手に遊びに行き、祖父と一緒に近くの川へ「どろ

と呼ばれる魚や川蟹を獲る罫を仕掛けに行くのが、とても楽しみでした。たまたま獲れる川蟹や鰻を豪快に料理し、食べさせてくれた祖父との日々が、私の心の中に岩手の良い思い出として残っています。

話がそれてしまいましたが、父は、水沢の高校を卒業後、何度か転職を繰り返して、協同飼料株式会社（現在のフィード・ワン株式会社）にお世話になり、東北地区担当の販売員として働き、当時、政府が募集していた「農業実習生派遣制度」に在職中に応募し、実習生としてアメリカの農家へ派遣されることとなりました。

実習生達はアメリカ各地の様々な農家（野菜生産者・果樹生産者・畜産農家）に配属が決められたのですが、父が配属されたのは、アイオワ州のスーシティと言う小さな町にあった採

卵養鶏農家だったそうです。そして、この出会いこそが、父が養鶏を始めたいと強く思ったきっかけだったと聞いております。

1年間の実習を終え、帰国した父がアメリカの養鶏を自分で始めたいと思い、事業計画を作り準備を進めていた所へ、タイミング良く八戸で養鶏業を営んでいた方から事業を譲りたいとの申し出があったそうです。父は、すぐ銀行へ事業計画を持ち込み、融資のお願いをしましたが、何の担保も所帯も持たない者にお金は貸せないと、門前払いの日々だったと何度も聞かされました。

その後、八戸出身の母と結婚し所帯を持ち、担保については、商社の保証を受けられることになり、父は無事、融資を受け現在の会社をスタートさせる事が出来ました。会社を始めて数



株式会社オリエンタルファーム
(八戸市)
代表取締役

高野 英夫

年は好景気に乗り順調でしたが、昭和48年のいわゆる「オイルショック」では大変な苦労があったようです。餌を運んで来る車の燃料がない、包装するダンボールが入荷しない、卵を出荷するトラックの燃料がない等々、まともに営業出来る状態ではなかったようです。

その後も、ここに書ききれない様々な問題（鶏の病気等）があったと聞いておりますが、私と弟が入社した平成7年には、約42万羽の鶏を飼養する規模になっておりました。それから、国や県、市の補助金を受け設立した有限会社芙蓉農産（私の弟が代表）、私が代表を務めていた株式会社プライムエッグと3社3農場体制で約20年間営業をしてまいりましたが、昨年、前代表の父が相談役へと勇退したのを機に（株）オリエンタルファーム、（有）芙蓉農産、（株）プライムエッグの3社を合併し現在に至っております。

「私どもの卵」

皆さんが、スーパー等で目にする卵には、殻が白い卵、茶色の卵があります（ピンクの卵もあります）が、どの色の卵も栄養的には差が無いと言われています。

多少の栄養の違い、黄身の色の濃さ等々は与える餌の配合や、鶏を飼養する環境（水、衛生

状態等々）によって変化します。もちろん、味にも違いはありますが、美味、不美味は、あくまでもお客様それぞれの好みだと私は思っております。

そこで、当社では鶏が気持ち良い環境こそが良い卵を育むと考え、十数年来、農場内、鶏舎内の環境改善、衛生管理を徹底してまいりました。その結果、現在では、多くの外食チェーン



八戸市にある本社、農場全景

（牛丼、ドーナツ、大手うどん2社、弁当等々）から評価頂き、生産量の約50%を外食、加工メーカーのお客様に供給しております。

これらのお客様からは、毎年、現場監査が実施され、100項目以上のチェックリストにより評価が下されますが、概ね、年6回程度の監査を受けることにより、現場での良い環境と良い緊張が保たれていると思っております。

「念じれば叶う」

私が仕事する上で大切に思っていることが一つあります。それは、創業者である父が良く言っていたこと、「念じれば叶う」と言うことです。

自分でやりたいこと、なりたい姿を強くイメージして念じること、必ずその方向に向かうことが出来ると何度も言われました。実際、父と仕事をしてきた20年を振り返ると、強く念じること、様々な情報や運に恵まれてきたと感じることが多々あります。

今後、将来のオリエンタルファームの姿を強くイメージし、「念じれば叶う」で良い卵を皆様にお届けし続けたいと思っております。

最後になりますが、皆様の美容と健康の為、卵は1日2ヶ食べて頂ければ幸いです。